

## 2-② 子どもに伝えるのって難しい！

■対象：乳幼児～中学生の親

■時間：60分程度

■手法：シミュレーション

**学習のねらい** 聞く側の受け止め方や感じ方の違いについて体感し、自分自身の子どもへの話し方・接し方をふり返る。

**準備するもの** 3種類の絵 (P.70 拡大したもの) コピー用紙 時計 (ストップウォッチ) 筆記用具 ワークシート【P.69】 絵【P.70】 アドバースタイム用配付資料

時間	学習の流れ	留意点	準備
	<p><b>【はじめに】</b></p> <p>人と話す時、伝えることの難しさについて感じたことはありませんか。今日は、“子どもに伝える”ということについてみなさんと一緒に考えていきたいと思います。その前に、ちょっと心と体をリラックスさせましょう。</p>		
10分	<p><b>【アイスブレイク】</b></p> <p>①伝言ゲーム (P.101)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えることを意識したアイスブレイクをするとよい。</li> </ul>	
30分	<p>《講座の前にルールとマナーを確認しましょう》</p> <p><b>【ワークショップ】</b></p> <p>① 1人目の挑戦 ② 2人目の挑戦 ③ 確かめ合う ※時間に合わせて、3回目の「確かめ合う」は実施してください</p> <p>④まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2人1組で行う。参加者が奇数の場合は、スタッフが対応する。</li> <li>・①～③それぞれで、役割を交代する。</li> <li>・「話す」と「聞く」両方の立場を体感することにより聞き手の気持ちを意識した話し方について考えるように伝える。</li> </ul>	<p>絵 (P.70) コピー用紙 筆記用具 時計 (ストップウォッチ)</p>
18分	<p><b>【ふり返りと分かち合い】</b></p> <p>①学習で気がついたことをワーク1にまとめる ②全体で発表し合う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己をふり返り、今後について考える時間をとる。</li> <li>・全体が難しければ、2～3人に発表してもらおう。</li> </ul>	<p>ワークシート (P.69)</p>
2分	<p><b>【アドバースタイム】</b></p> <p>いかがでしたか？ 親の思いを子どもに上手く伝えるためには、受け止める子どもの立場や思いを理解することが大切です。文部科学省発行の家庭教育手帳には、次のような記述があります。 ※資料 P.111「子どもは『親』のぬくもりを求めています」を読む。</p> <p>《講座の最後にルールとマナーの確認をしましょう》</p>		<p>配付資料</p>

## 2-② 子どもに伝えるのって難しい！

### ① 1人目の挑戦 (10分)

それでは、2人1組になりましょう。  
みなさんには、これからFAXの機械になってもらいます。1人が送信者、もう1人が受信者になります。送信者は、受信者に見えないように掲示してある絵を受信者に言葉だけで伝えていきます。受信者は、伝えられたことをできるだけ忠実に絵に表してください。



送信者のみなさんは、指を動かして指示したり、指でなぞったりしてはいけません。受信者のみなさんは、これでいいのか不安になると思いますが、「ねえねえこれでいいの」などと聞かないようにしましょう。質問しながら描いたり、文句を言ったりしないようにしましょう。

時間は、3分です。途中で何度絵を見に行っても構いません。  
それでは、始めましょう。



できあがった絵を並べて正解と比較しましょう。  
みんなでふり返ってみましょう。

※参加者の声をひろって広げていく。

※伝えるポイントを話す。(全体のイメージ→詳細)

(例) ひまわりを3本描きます。左から1/3、1/2、2/3の高さです。

### ② 2人目の挑戦 (10分)

送信者と受信者を入れ代わりましょう。ルールは同じです。時間は、3分です。途中で何度絵を見に行っても構いません。  
それでは、始めましょう。



「ここの伝え方をこうすれば良かった」「全然分からなかった」「この伝え方がとても良かった」など送信者の立場、受信者の立場でふり返りましょう。

### ③ 確かめ合う (9分) ※時間に合わせて、実施しましょう。

2人でふり返ったことを踏まえてもう1回だけ挑戦しましょう。1回だけしかしません。送信者と受信者を決めてください。



### ④ まとめ (1分)



いかがでしたか。実は、この送信者と受信者の関係は、物事をよく知っている大人と知らない子どもという親子の関係にとってもよく似ていると言われます。

体験して気づいたことをもとに、子どもへの話し方・接し方について、ワーク1にまとめてみましょう。

**ワーク1** 日頃子どもへの話し方、聞き方をふり返ってみましょう。

子どもへの話し方・接し方で心がけたいことは何ですか。



3種類の絵 (それぞれ拡大コピーしてお使いください)

